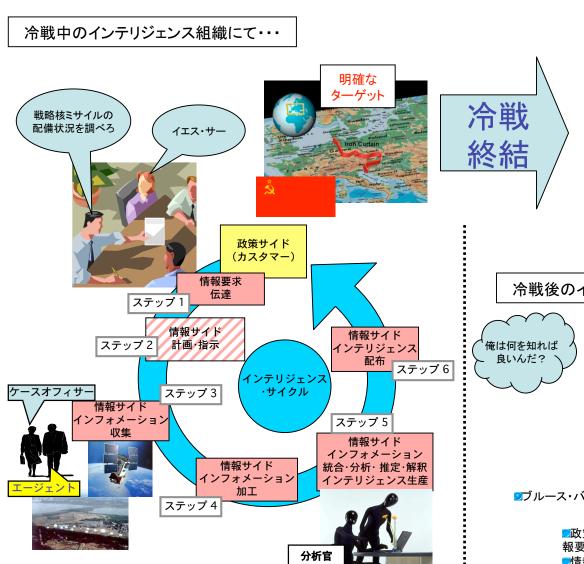
# インフォメーションからインテリジェンスへ 一冷戦後の世界と情報一

北岡 元



脅威の拡散 ・多様化

### 冷戦後のインテリジェンス組織にて・・・



それが分からないと インテリジェンスが、 作れないよ・・・

■ブルース・バーコウィッツ(Bruce Berkowitz)の「鶏と卵」

- ■政策サイド(カスタマー): 現実を認識しない限り、情報要求を伝達できない
- ■情報サイド:情報要求が伝達されないと、インテリジェンスを生産・配布して、政策サイドに現実を認識させられない



米フーバー研究 所 HPより転載

9.11の写真は<u>www.homelandsecurity.alabama.gov/</u>より、麻薬関連写真は<u>www.dea.gov/</u>より転載。

### 冷戦後のインテリジェンス組織のあるべき姿

## 1.発想を転換する

「彼を知る」から「己(おのれ)を知る」への転換

冷戦中の発想「彼を知る」

政策サイド:「<u>あれ</u>が知りたい」 情報サイド:「答えはこれです」



彼を知りて 己を知れば、 百戦して あやうからず

敵はどんな ところを 突いてくるかな?

### 冷戦後の発想「まず己(おのれ)を知る」

政策サイド:何だかよく分からないが、我が国の脅威に なりそうなものはみんな見ろ!

情報サイド:まず我が国の弱点を検証しましょう!

我が国の 弱点はここです!

我が国に 脅威が迫っています!

#### インテリジェンス組織

己の弱点から、敵の動きを予測 (aggressors' methods of operation)

「どのような兆候があれば危険か」を明確化 (threat indicator)

兆候の有無を監視

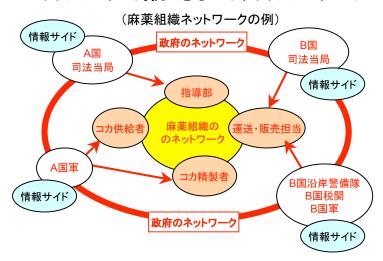


〇これは我が国にとって脅威ですよ!(警告)

〇これは我が国にとってチャンスですよ!(助言)

## 2.ネットワークを利用する(1)

ネットワークに対抗できるのは、ネットワークのみ



## 3.ネットワークを利用する(2)

インテリジェンス・サイクルをネットワーク型にする

(政策サイド、インフォメーション収集者、分析官が全てネットワークで繋がる)

